

けんしん職員ON&OFF

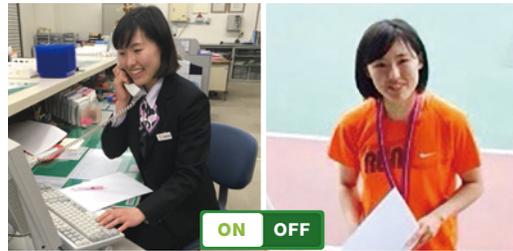
①職員名 ②所属部 ③仕事の心得を漢字一文字でいうと？ ④オフの顔

大分中央ブロック同友会



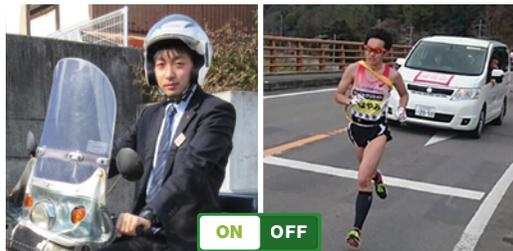
①紀 聡司 ②大分駅前支店 ③「楽」「らく」ではなく「たのしみ」です。職員や支店の雰囲気、感情は思った以上にお客様に伝わります。頑張るのは当然ですが、楽しんでできる環境が大事だと思います。④天満社夏季大祭に参加した写真です

大分南部ブロック同友会



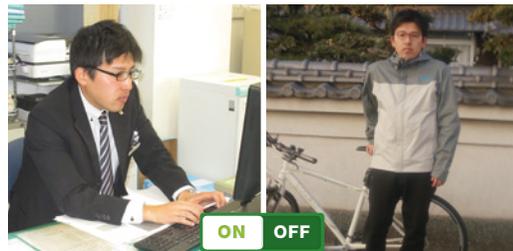
①瓜生田 萌枝 ②豊府支店 ③「聞」仕事をする上で、お客様と一緒に働く職員の話聞くことが何よりも大事だと感じています。④陸上記録会に参加した写真です。

別府・日田同友会



①室井 勇吾 ②日出支店 ③「挑」様々な事に挑戦し、お客様の期待に応えられる努力をします。④第59回県内一周大分合同駅伝に速見郡代表で参加した写真です。

佐伯地区同友会



①岩本 光容 ②佐伯支店 ③「信」お客様の信頼に応えられる職員であるよう心がけています。④自転車で散策している時の写真です。

同・友・know?

けんしんでは、様々な地域貢献活動をおこなっています。



平成30年2月4日(日) 杵築市文化体育館にて、第24回けんしんカップソフトバレーボール大分県大会が開催されました。地域に根差す金融機関の社会貢献活動の一環として始めた本大会も今年で24回目。けんしんは、これからも業務や各種イベントを通じて、なお一層大分県民の皆様の健やかな毎日を応援してまいります。



大分県信用組合

<http://www.oita-kenshin.co.jp>

本号におきましては、大分中央ブロック同友会、大分南部ブロック同友会、別府・日出同友会、佐伯地区同友会の皆さまに取材のご協力を頂き誠にありがとうございました。これからも順次各地域の同友会への取材を企画しております。なお、紙面構成の都合により至らぬ点もあろうかと存じますが、何卒ご了承くださいませようお願い申し上げます。(会報誌編集事務局)

Tomopal

大分県信用組合「けんしん同友会」会報誌 トモパル

TEL 097-5348200 ■VOL.28 2018年3月30日発行 ■発行 大分県信用組合営業統括部 ■所在地 大分市中島西2丁目4番1号 ■企画編集 株式会社アドコンセプト



春、夢芽吹く

- 1 特集/TOP INTERVIEW
岡村工業 株式会社
株式会社 リアホーム
九州ナノテック光学 株式会社
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしん職員ON&OFF



技術力のある町工場だから
大手メーカーには出来ない
小回りの効く仕事を心掛けている

職人の探究心が生んだ “下町焼却炉”を全国へ!

大分中央ブロック

[鉄工業]

岡村工業 株式会社
代表取締役 岡村 典生氏

DATA

所 大分市三川新町1-2-10
☎ 097-578-6753
営業 8:00~17:00
休 日曜
あり

平成23年4月に創業した『岡村工業』は、配管、製缶、溶接、機械据付、鋼構造物等の工事一式を請け負う鉄工業を営む会社。昨年より手がけているのが養鶏工場用の鶏糞処理焼却炉だ。養鶏を営む業者さんが、毎日出る鶏糞の処理に困っており、何とかして欲しいという相談を受けた事からはじまった。鶏糞は堆肥として売る事も可能なのだが、毎日出る大量の鶏糞の処理は焼却するしかない。大手メーカーが販売している焼却炉は、設備費用、ランニングコストともに養鶏業者からしてみれば手の届かない金額。そ

こで代表取締役の岡村典生さんは、焼却装置の研究をはじめ夜を徹して情報収集と試作に励んだ。「ただひたすら焼却炉の勉強をしました。これで完成というカタチはないですね。納品先でアフターフォローに行った際に聞く意見等で改良していかなければいけないこともあります」と岡村さん。品質にこだわり、良い物をより安価で、使い勝手の良い物を提供する。その熱い想いと探究心は創業当時のものだ。

工場を立ち上げた当初は、とにかく信用を得るために採算を度外視して

製品を提供してきた。他の業者が扱わない急ぎの仕事も引き受ける。しかし忙しくても絶対に雑な仕事をしない事を信条に、そうして徐々に技術力の高さと生産性が認められ、取引先からの信頼を得ることができた。「小さな町工場ですが、技術力には絶対的な自信があります。だからこそ大手には出来ない事で勝負したいのです」と、テレビドラマにもなった作家・池井戸潤の「下町ロケット」を地で行くようなシチュエーション。そこには職人としての決して諦めないプライドのようなものを感じる。「今後の課題は同じ容量でさらにコンパクトにする事。灰を極限まで減らす事。そして作業効率を上げてランニングコストを抑える仕組みを作る事です。だけど、もう頭の中では出来上がっているんですけどね(笑)」。その飽くなき探究心と技術力、そして何よりその発想力が『岡村工業』の強みなのだ。岡村さんの想いは、県内だけでなく、九州各地へこの“下町焼却炉”とともに広まっている。

鶏糞用焼却炉の納品風景。養鶏業者からの問合せも多く、県外にも多く納品している



創業7年目を迎える『岡村工業』の社屋



技術力の高い職人が揃った岡村工業だからこそ工場はフル稼働

家を建てたいと思ったらまず考えてしまうのが、価格、耐震強度、広さではないだろうか？ 価格が安く、耐震強度も備え、広々とした家を実現する家づくりが誰もが考える理想。今では珍しいメーターモジュール(1mを基本寸法とする設計基準・一般的な尺モジュールと比べて約90mm長くなる)を採用し、筋交いを入れず、面材で耐震強化をし、なおかつ大手メーカーのようにテレビCMやチラシ等広告費を使わない事を徹底しているので住宅の価格を抑えることができる、そんな理想的な家づくりを実現出来るのが『リアホーム』だ。

23年前から今も自動車販売、修理・点検をする『G・R・T』という会社で社長を務める後藤秀樹さんは、腕の良い大工として活躍していた築城雄一さんと出会い、理想的な家づくりを行

う会社『リアホーム』を平成26年に立ち上げた。「自動車販売や修理の仕事は今も続けていますが、『リアホーム』創業当初は『G・R・T』のお客さんがほとんどでした。築城さんの腕の良さもあり、今では口コミで広がっていますし、店舗内装からリフォーム、注文住宅、そして最近では建て売り住宅までさまざまな仕事に携わらせてもらっています」と後藤さん。

そんな後藤さんは、元々大の車好き。好きが講じて車のレース大会の主催者を務めるほど。また車以外にもスノーボードやソフトバレーボール、釣りなど多才な趣味を持つ。特に釣りは専門誌に掲載されるほどの腕前。そんな趣味人だからこそ、暮らしが楽しくなる様々なアイデアを住宅に盛り込むことが出来る。インナーガレージのある家やバルコニーを広くとった家

等、施主の要望を裏切らない施工を続けてきた。現在建築中の建て売り住宅にもその思いは反映され、低価格なのに広々としたアイデアいっぱいの建て売りの実現を目指している。「自分の家は大手メーカーの注文住宅だったんですが、いろいろ失敗をしました。だからこそ、住む人が本当に満足出来る家を提供したいんです。腕のいい協力業者さん達のお陰で満足してもらえます家づくりができています」と後藤さん。お話をしている中で、とにかく明るく笑顔と人を飽きさせない話術が印象的だ。そんな人柄に惹かれてたくさんの方が集まる。お客さんを裏切らず、要望以上の提案を続けてきたからこそ、信頼関係が構築され口コミが広がり続けているのだろう。理想の家づくりを目指すなら『リアホーム』に相談してみてもいいだろう。

趣味人だから出来る、暮らしが楽しくなる家の提案



河川敷に建つ『リアホーム』の社屋

由布市挾間に建築中の建て売り住宅4棟にも楽しいアイデアと工夫がいっぱい



自動車販売、整備、点検、板金、塗装を手がける『株式会社G・R・T』

大分南部ブロック同友会

[建設業]

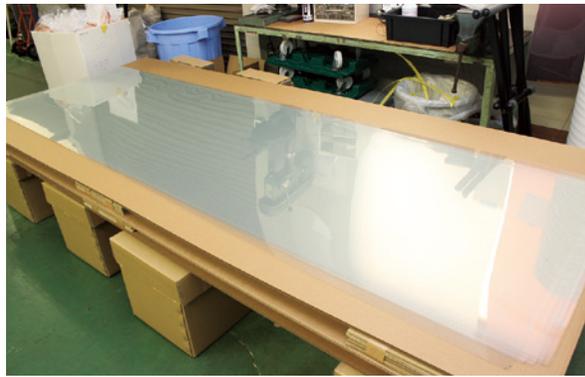
株式会社 リアホーム
代表取締役 後藤 秀樹氏

DATA

所 大分市大字畑中380-1
☎ 097-529-6255
営業 8:30~17:00
休 日曜、祝日
あり

多趣味で話題も豊富な後藤さんの話は笑い声が絶えない

前例のない製品を作り、世界的メーカーへ躍進する



通電時に白濁するという今までの逆の技術「リバーシブルモード」も世界初



社内に貼られている「機能性フィルムシート」。左側が通電中で透明。右側が白濁したシート

右／工場内には世界を相手にしている企業ならではの最新機器が並ぶ
左／日出町藤原に建設中の新工場



日出町の山間にある『九州ナノテック光学』は「機能性フィルムシート」の基礎開発から製造をする会社。「機能性フィルムシート」とは、液晶を挟み込んだシートに電気を通す事で透明と白濁をコントロール出来るフィルム。商業施設や病院、大分県庁1階の大分県次世代エネルギーパークインフォメーションコーナーなどに施工されている。ガラス面などに貼り通電させると透明な状態になり、電気を切るとガラスが白濁するフィルム。プライバシーを守りたい会議室や

病院の診察室などに利用されている。このような技術は今まで分厚いガラスで液晶シートを挟み込むことしかできなかった。建築関係などではオーダーでしか作れなかった技術。これをシート状にすることは世界初の技術で、商品としての汎用性が広がったのだ。

電機メーカーに技術者として勤務していた代表取締役の馬場潤一さんは、国の研究等に携わる中で液晶フィルムの研究開発に関わった。しかし会社の規模縮小等で研究は半ばで頓挫した。その後も液晶シートの研究を諦めきれなかった馬場さんは退社を決意し、大学の恩師や様々な人との繋がりて起業するまでに至った。「今までにないものを作ろうとしていたので、創業当初は苦労しました。当時はこの製品が何の役に立つのか？商品として売れるのか？企業として成り立つのか？など前例のないものに対する日本固有の商習慣の壁にぶつかったりもしました。そんな中、我が社の製品に様々な企業が興味を持ってくれたのです。おかげ様で、今では海外の会社とも取引が出来るようになりました」と馬場さん。この技術を利用した商品とは、他にどんなものがあるのか興味津々に尋ねてみると「中国で採用されもう実践していますが、テロリスト等から身を守るため、車の中の要人が見えないよう、車のサイドガラスに貼っています。また、国内では、お店の窓に貼って昼間は透過することで中が見え、夜間は白濁したガラス面に映像を映し様々な演出にも利用されています。身近な所で言えばコインランドリー。前面にこのシートを貼って洗濯物が入っている間は中が見えないようにできるので、お客さんに喜ばれています」。

その他、世界初の技術は多数。例えばシートに色を付ける技術。シートを切断したり、穴をあけても性能は変わらない技術。マイナス20度から100度までの温度なら性能が変わらない実験も成功した。実用化に向けて様々な実験や世界初の技術を駆使し、建築、自動車、航空機、家電と市場は拡大している。今春には同じ日出町藤原に新工場も出来る予定だ。地域の雇用も生み出し、取引先は日本のみならず世界が相手という企業の躍進は止まらない。

別府・日出同友会

[製造業]

九州ナノテック光学 株式会社
代表取締役 馬場 潤一氏

DATA

〒 速見郡日出町大字大神8574-2
☎ 0977-72-3315
🕒 9:00~18:00
📅 土曜、日曜、祝日 📍あり
<http://www.kyunano.jp/index.php>



技術者として会社を引っぱり、海外での展示会にも積極的に進出する馬場潤一さん



佐伯調査 株式会社
代表取締役 小田 新一郎さん



桜並木の城山公園下の武家屋敷通りにある社屋

DATA

[測量設計]
佐伯調査 株式会社
〒 佐伯市城下西町4-24
☎ 0972-22-9911
🕒 8:00~17:00
📅 土曜、日曜、祝日
📍あり

街づくりの土台を担う技術集団

公共工事を行う前に、地質の調査や地形の測量をしたり、道路・河川・砂防・下水道やトンネル・橋梁の設計を担うのが『佐伯調査』の業務内容。街づくりの基礎の基礎となる重要な仕事だ。今年で創業40年を迎えた『佐伯調査』は、さまざまな資格者を抱えた技術集団。「その土地に公共の建物が建つ、その川に橋が架かる、このように街の発展には欠かせない公共工事の根幹作業は決して間違いの許されない仕事なのです」と代表取締役の小田新一郎さんは説明してくれた。「私どものお客様は県や市、ときには国と行政機関が中心です。近年の大地震や豪雨災害の際も測量業務で県内外を飛び回っています」。実際、災害が起これば、地形も変わり道路や河

川の改修工事が行われる。その際も基礎となる測量業務は間違いの許されない仕事。「当社のモットーは“一流の知識・技術を備え、最高のサービスと信頼を志向し、地域社会に貢献する”ということ」と小田さん。近年では危険な現場での測量にはドローンを使う等テクノロジーが発達してきている。「ドローンの講習会などには積極的に社員を行かせています。技術の進歩に追いついていかないといいませんからね」と現状に甘えず、先を見据えた経営を目指す。技術の進歩とともに、男女の関係はなく仕事ができるのも利点だと小田さんは語る。「男性でなければ出来ない仕事ではなくなってきている業界です。測量も数値は機器に記録されますから、女性でも活躍出来る職場です」。皆さんも公共工事の現場に出会ったら、その基礎となる測量や設計を担う会社に想いを馳せて欲しい。

キラリ新風力 New Wind & Fresh Power ふわり爽風力

発想の転換で、物流・倉庫業を変えていく

『マテリアルデポット』は、800坪約2,000tの収容力のある倉庫業と、一般貨物輸送、資源廃棄物、バイオ燃料等の特殊貨物の収集運搬をする物流業が主な事業。従来の倉庫管理は紙面に記入して人力で管理していた。それを2017年より、倉庫内外にカメラを設置しセキュリティー機能をアップし、バーコードやタグによる管理をパソコンでデータ化できるようにした。クライアント側にもテレビやパソコンで社内に見ながら倉庫内の様子が目で見え、データ化している事で流通の状況がその場で確認する事が可能になった。大分県内でもココだけのシステムはクライアントからの評判も上々で、倉庫内での作業員の人員削減にも繋がっている。社

内のAI化を進める事で、初期投資は掛かるが人員削減とコスト削減が可能になった。

一方、特殊車両の認可を持ち大手の下請けを主としていた物流業にもメスを入れた。A社の商品を届けた帰りの便に、B社の資源廃棄物などを運搬する手法をとり、そのための営業先と独自のルートを開発する事で運搬の効率化と、クライアントのニーズに最大限に応える物流を目指している。「資源廃棄物やバイオ燃料等の運搬は特殊車両や認可が必要で、その認可や車両を持っている強みを活かして、運送に付加価値を付けていく事が必要」と代表取締役の岸博文さん。来たるAI時代を見据え、時代のニーズにあった物流・倉庫事業を展開していく『マテリアルデポット』の今後が楽しみだ。



株式会社 マテリアルデポット
代表取締役 岸 博文さん



DATA

[倉庫・運送業]
株式会社 マテリアルデポット
〒 大分市大字迫776-1
☎ 097-576-7518
🕒 8:30~17:00
📅 土曜、日曜、祝日 📍あり
<http://www.m-depot.biz>

800坪約2,000tの収容力の倉庫は2人の人材で管理出来るようにシステムを構築している

飲食業

DIsgweetse&cafe

安心・安全な素材を活かした 手作りケーキが人気の 地域に根ざしたお店



人気のアップルパイは何層も重なった生地がパリッとして美味しい

3月に別府大学通りから800mほど海沿いに移転した『ディグ・コーヒー』の創業は、平成23年の9月。店名はオーナーの堀伸彦さんの名字に引っ掛けて、“掘る・掘り下げる”という英語の意味の“DIG”から。味や素材、そして美味しいコーヒーやケーキを“探求する”という意味も込められている。別府大学周辺という場所柄、若い学生だけかと思いきや、老若男女問わず人気のお店で、近所の人々の憩いの場になっている。美味しい手作りケーキとコーヒーを楽しむ落ち着いた空間が人気の秘密だ。特に生地から丁寧に作られた「アップルパイ(340円)」は、一日に何度焼いても売り切れてしまう人気ぶり。美味しいケーキをかわいいラテアートとともに、隠れ家的カフェでゆったりとした時間を過ごしてみませんか。



〒 別府市上人ヶ浜町8-20
☎ 0977-67-0029
🕒 10:00~20:00
📌 不定休 📍あり



飲食業

フジサワ産業

お客様のニーズに合わせた施工で 末永いお付き合いを



リニューアルも手がけた『ポップランド大分店』等店舗工事も多数

今年の5月で創業20年を迎える『フジサワ産業』。木造住宅をメインに新築・リフォーム、店舗施工まで手がけ“施主様に寄り添った仕事”をモットーとしている。昨年より、長野県の老舗商社『綿半ソリューションズ(株)』の販売協力店として提携し、スレート(トタン)屋根改修工事事業の展開も始まった。豪雨災害などで漏水被害のあるスレート屋根の工場等に対して改修工事を施工する。通常工事では、工場を閉鎖しなければならない屋根工事も、操業しながらの工事という大きな利点があり、なおかつ金額面の負担も少ない。常にお客様のニーズに寄り添い、末永いお付き合いが出来るよう今後もブレないモットーで事業展開していく『フジサワ産業』に注目していきたい。店舗、住宅問わず何かあれば問い合わせしてみは。



〒 大分市南春日町10-13-1F
☎ 097-529-6625
🕒 8:30~17:30
📌あり



娯楽業

有限会社あひる競技

長く続く“あひる競走”を 新しいカタチで展開するカフェ



パステルカラーのかわいい店内にはオリジナル商品が並ぶ

平成29年7月に『別府ラクテンチ』乙原ゲート前にオープンした『AHIRU CAFÉ 八わのあひる』は、遊園地内で68年間もあひる競走を続けている『有限会社 あひる競技』が手がけた新事業。あひる競走の八羽のあひるたちが生活し営むカフェというコンセプトで、店内にあひるのイラストや商品が並ぶ。4代目の野田圭一郎さんが、別府在住のイラストレーター・藤沢さだみさんに協力して頂き作り上げた店内の空気感や、「あひるアイスクリーム」などのオリジナル商品が人気。長く続くあひる競走とともに、平行してカフェ事業も展開しココだけでしか味わえないもの、手に入らないものを発信している。若い4代目がチャレンジし続ける新たな取り組みは、SNSなどを活用し若い人たちにも好評だ。



〒 別府市乙原2組
☎ 090-5747-2929
🕒 11:00~16:00
📌 不定休 📍あり(要問合せ)



不動産業

株式会社豊拓

一期一会の精神で お客様の豊かな未来を切り拓く



「お客様や協力業者さんとのご縁があるから、今があるんです」と代表取締役社長の洲朱美さん

昭和57年に創業した『豊拓』。その社名には“豊後の土地を切り拓く”開拓精神が込められている。近年、新たな土地活用法としてレンタル倉庫事業を展開したり、大分市と中国・武漢市の交流ルートを基盤に海外進出も図っている。「不動産業は景気の浮き沈みを敏感に察知し、お客様のニーズに合った仕事をしていかなければいけません。だからこそ“一期一会”を座右の銘とし、ご縁を大切に次にお会いするときには何年来の友になれるようにしたい」と代表取締役社長の洲朱美さん。一人ひとりに合った提案を心がけるからこそ、信頼されての口コミの紹介が多いのだろう。その社名には“大切なお客様の豊かな未来を一緒になって切り拓く”という意味合いも込められているのではないだろうか。



〒 大分市大字市1121番地
☎ 097-541-6638
🕒 9:00~18:00
📌お盆、年末年始 📍あり
<http://www.houtaku.jp>



専門サービス業

あいはた司法書士事務所

地域に密着し、 地域に貢献する ラグーマン司法書士



法律事務のお手伝いで地元で貢献出来る喜びを感じると藍畑さん

司法書士の仕事は主に不動産登記や会社、法人登記、相続、遺言、成年後見、債務整理、簡易裁判所における訴訟代理や示談交渉等多岐にわたる。猛勉強の末、大学在籍時に司法書士に合格した藍畑公明さんは、別府市の事務所を経験を積んだ後に独立した。「地域の身近な法律家が司法書士です。家を建てたい、起業したいと考えている人に法律の分野で手助けが出来る。地元で地域に貢献出来るのがこの仕事のやりがいです」と藍畑さん。小さい頃からラグビーをやり、その中で自分がチームに何が出来るかを常に考えてプレイしていた。今では地域のために何が出来るかと常に考えている熱血漢。相続の問題や日常の法律問題があれば、心優しきラグーマン司法書士に相談してみは。



〒 大分市賀来南1-1-83-202号
☎ 097-585-5941
🕒 9:00~18:00
📌土曜、日曜、祝日*予約があれば対応 📍あり



印刷業

株式会社インタープリント

厳しい業界の中で模索し続ける、 オールマイティーな技術集団



高度情報化社会のなかで時代のニーズを多角的に分析し、低迷する業界に立ち向かう

近年の情報化社会のなかで、活字離れが叫ばれ印刷業界は窮地に立たされている。そんな中、庄内に工場を構える『インタープリント』は、昭和37年10月に大分県文化農業協同組合連合会として発足し、各農協使用帳票類印刷物を主として業務を開始した。その後社名を改名し、県内でも製本設備が整った会社として成長してきた。「今は情報をスマホやネットから得る時代です。印刷業界は低迷期だからこそ、今ある設備をいかに効率よく使うか、そして社員にも一つの事だけでなくあらゆる事が出来るように教育していかなければなりません」と代表取締役社長の目原幸治さん。オールマイティーな技術集団を目指し、成長を模索し続ける印刷会社に注目したい。



〒 由布市庄内町東長宝312
☎ 097-582-1122
🕒 9:00~17:30
📌土曜、日曜、祝日 📍あり
<http://www.inter-print.jp/>

